

「休暇取得の分散化に関する特別世論調査」の概要

平成 22 年 12 月 2 日

内閣府政府広報室

調 査 概 要	調 査 対 象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,953 人 (65.1%)
	調 査 期 間	平成 22 年 10 月 21 日～10 月 31 日
	調 査 方 法	調査員による個別面接聴取

調 査 目 的 休暇取得の分散化に関する国民の意識を調査し、
今後の施策の参考とする。

調 査 項 目 1 休暇取得の分散化の取組に対する認知度
2 休暇取得の分散化の賛否
3 休暇取得の分散化に賛成する理由
4 休暇取得の分散化に反対する理由

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室

世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

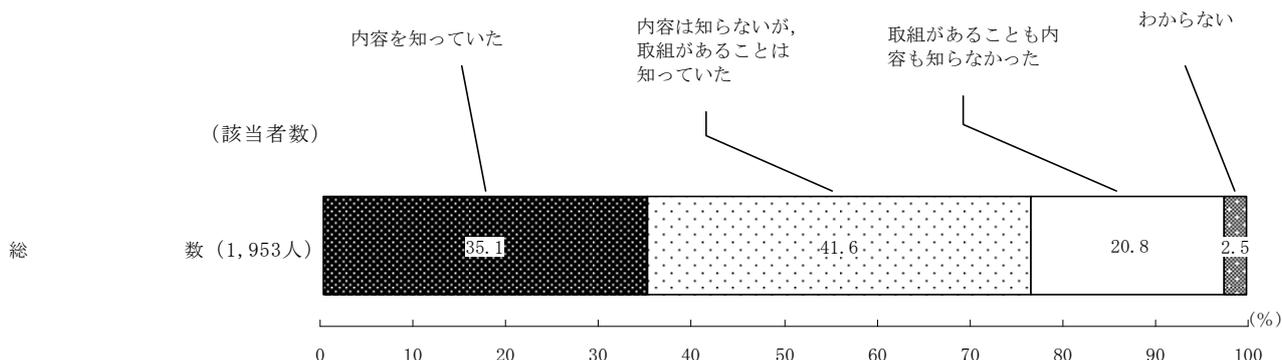
電話 03(3581)0070

FAX 03(3580)1186

1 休暇取得の分散化の取組に対する認知度

平成 22 年 10 月

- ・ 内容を知っていた 35.1%
- ・ 内容は知らないが、取組があることは知っていた 41.6%
- ・ 取組があることも内容も知らなかった 20.8%

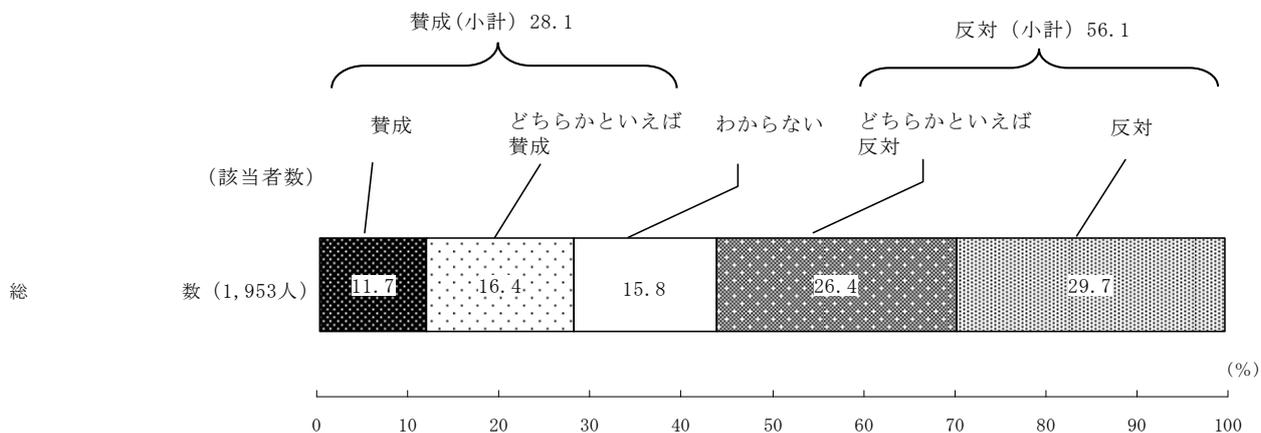


2 休暇取得の分散化の賛否

(1) 休暇取得の分散化の賛否

平成 22 年 10 月

- ・ 賛成 (小計) 28.1%
 - ・ 賛成 11.7%
 - ・ どちらかといえば賛成 16.4%
- ・ 反対 (小計) 56.1%
 - ・ どちらかといえば反対 26.4%
 - ・ 反対 29.7%
- ・ わからない 15.8%



(注) 「わからない」も、回答票に列記している。

(休暇取得の分散化の取組に「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者(548人)に)

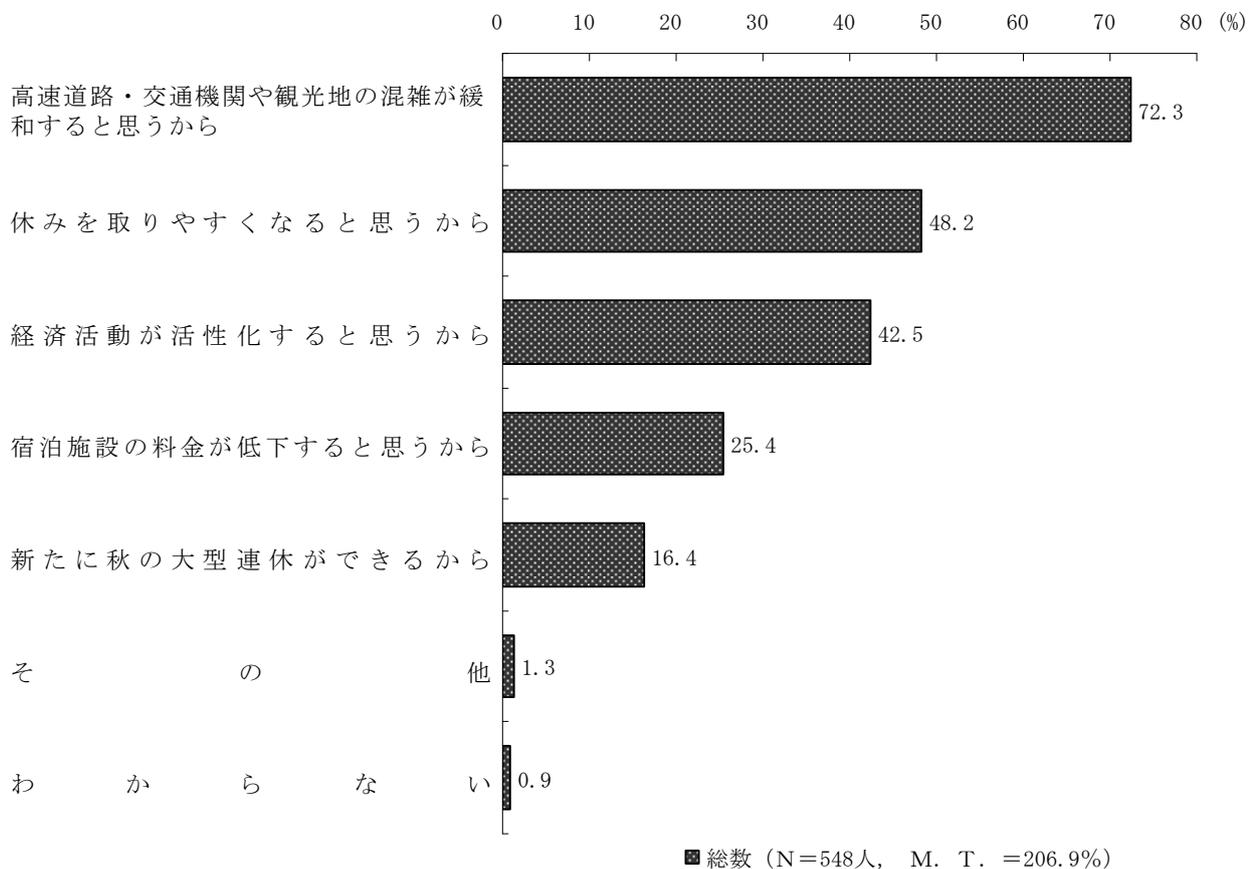
(2) 休暇取得の分散化に賛成する理由

(複数回答, 上位4項目)

平成22年10月

- ・ 高速道路・交通機関や観光地の混雑が緩和すると思うから 72.3%
- ・ 休みを取りやすくなると思うから 48.2%
- ・ 経済活動が活性化すると思うから 42.5%
- ・ 宿泊施設の料金が低下すると思うから 25.4%

(休暇取得の分散化の取組に「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答)



(休暇取得の分散化の取組に「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者(1,096人)に)

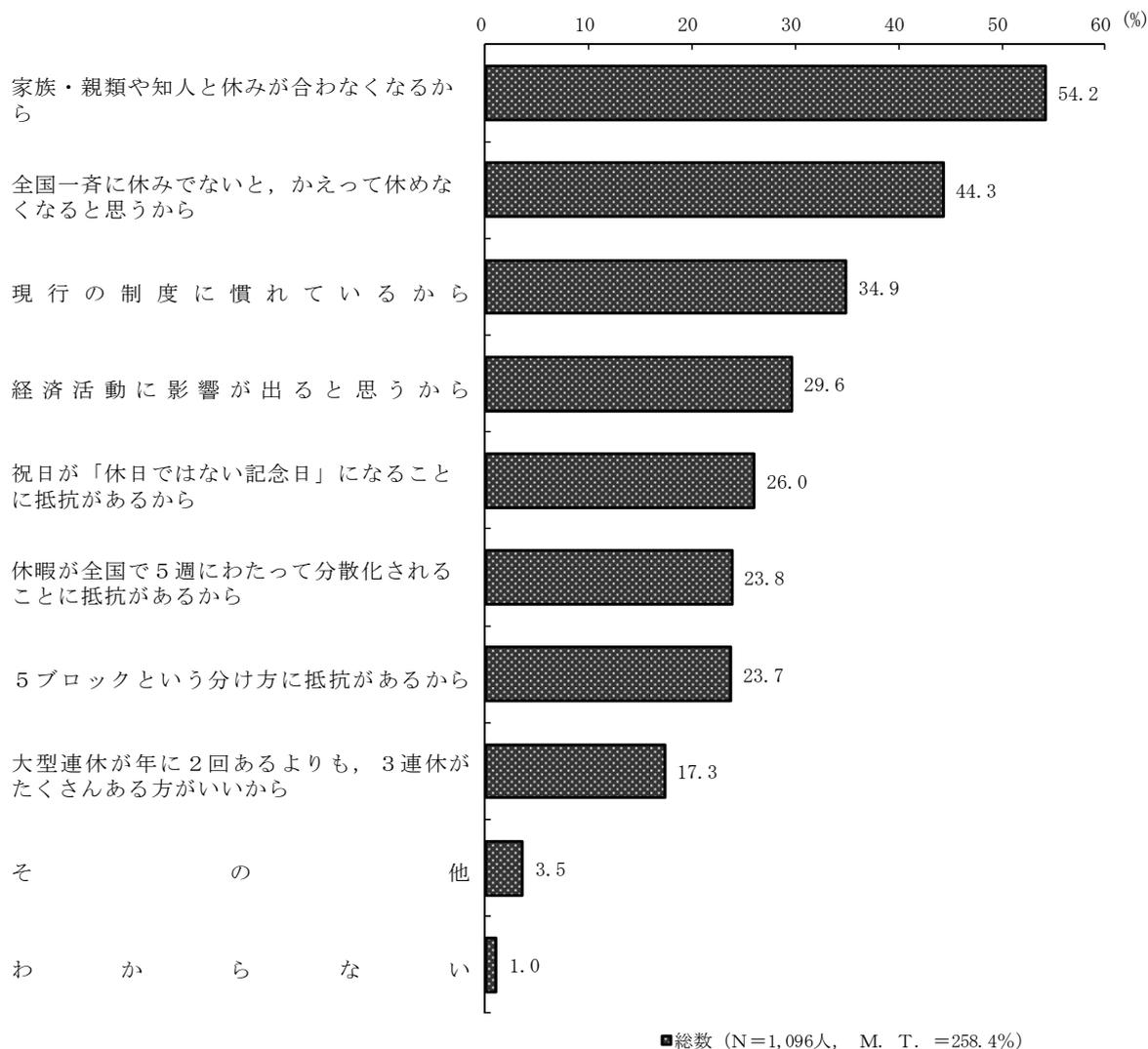
(3) 休暇取得の分散化に反対する理由

(複数回答, 上位3項目)

平成22年10月

- ・ 家族・親類や知人と休みが合わなくなるから 54.2%
- ・ 全国一斉に休みでない、かえって休めなくなると思うから 44.3%
- ・ 現行の制度に慣れているから 34.9%

(休暇取得の分散化の取組に「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者に、複数回答)



休暇取得の分散化に関する特別世論調査

調査時期：平成22年10月21日～10月31日
調査対象：全国20歳以上の者3,000人
有効回収数（率）：1,953人（65.1%）

話は変わりますが、次に時事問題として、「休暇取得の分散化」についてお伺いします。

（調査員注：資料を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。）

（資料）

政府では、ブロック毎に休暇を分散して取得する「休暇取得の分散化」を検討しております。その際、年間を通じての休日数を変えないために、新たに「休日ではない記念日」（休日ではない記念日の詳細は次の表1をご覧ください。）を設けることを考えています。

全国を5ブロック（ブロック区分の詳細は次の表2をご覧ください。）に分けます。そして、春（5月から6月）と秋（9月から10月）のそれぞれについて、1週ずつずらしながら、ブロックごとに、月曜日から水曜日を休日にして、土日を含めた5連休を設定します。

「秋の連休」について、具体的に平成22年のカレンダーを例に説明します。

北海道・東北・北関東ブロックでは、9月の最終週の、27日（月曜日）から29日（水曜日）が休日となり、土日を含めると5連休になります。

翌週は、南関東ブロックで、月曜日から水曜日が休日となります。

同様に、その翌週から、中部・北陸信越ブロック、近畿ブロック、中国・四国・九州・沖縄ブロックの順に、1週ずつずらしながら、それぞれのブロックで月曜日から水曜日が休日となります。

「春の連休」については、まず、5月の第3週目の、10日（月曜日）から12日（水曜日）が中国・四国・九州・沖縄ブロックでの休日となります。

その翌週から、「秋の連休」と同様に、近畿ブロック、中部・北陸信越ブロック、南関東ブロック、北海道・東北・北関東ブロックの順に、1週ずつずらしながら、それぞれのブロックで月曜日から水曜日が休日となります。

(表 1)

祝日名	現行の休日の日付	変更後の記念日の日付
成人の日	1月の第2月曜日	1月15日
みどりの日	5月4日	5月4日
こどもの日	5月5日	5月5日
海の日	7月の第3月曜日	7月20日
敬老の日	9月の第3月曜日	9月15日
体育の日	10月の第2月曜日	10月10日

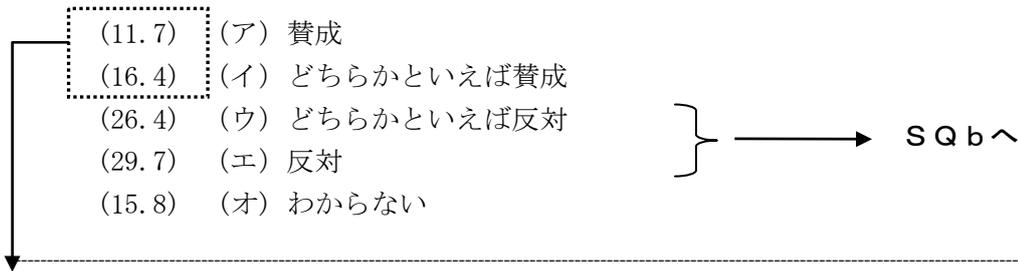
(表 2)

地域ブロック	都道府県
北海道・東北・北関東ブロック	北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県, 茨城県, 栃木県, 群馬県
南関東ブロック	埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県
中部・北陸信越ブロック	新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県
近畿ブロック	滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県
中国・四国・九州・沖縄ブロック	鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

Q 1 【回答票 1】 あなたは、現在、政府で検討している休暇取得の分散化の取組について、どの程度知っていましたか。この中から 1 つだけお答えください。

- (35.1) (ア) 内容を知っていた
(41.6) (イ) 内容は知らないが、取組があることは知っていた
(20.8) (ウ) 取組があることも内容も知らなかった
(2.5) わからない

Q 2 【回答票 2】あなたは、休暇取得の分散化の取組について賛成ですか。それとも、反対ですか。この中から 1 つだけお答えください。



【Q 2で「(ア) 賛成」, 「(イ) どちらかといえば賛成」と答えた者に】

S Q a 【回答票 3】休暇取得の分散化に賛成する理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=548)

- (72.3) (ア) 高速道路・交通機関や観光地の混雑が緩和^{かんわ}すると思うから
- (25.4) (イ) 宿泊施設の料金が低下すると思うから
- (48.2) (ウ) 休みを取りやすくなると思うから
- (42.5) (エ) 経済活動が活性化すると思うから
- (16.4) (オ) 新たに秋の大型連休ができるから
- (1.3) その他 ()
- (0.9) わからない

(M. T. = 206.9)

【Q 2で「(ウ) どちらかといえば反対」, 「(エ) 反対」と答えた者に】

S Q b 【回答票 4】休暇取得の分散化に反対する理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=1,096)

- (54.2) (ア) 家族・親類や知人と休みが合わなくなるから
- (44.3) (イ) 全国一斉に休みでないと、かえって休めなくなると思うから
- (17.3) (ウ) 大型連休が年に 2 回あるよりも、3 連休がたくさんある方がいいから
- (23.7) (エ) 5ブロックという分け方に抵抗があるから
- (23.8) (オ) 休暇が全国で 5 週にわたって分散化されることに抵抗があるから
- (29.6) (カ) 経済活動に影響が出ると思うから
- (26.0) (キ) 祝日が「休日ではない記念日」になることに抵抗があるから
- (34.9) (ク) 現行の制度に慣れているから
- (3.5) その他 ()
- (1.0) わからない

(M. T. = 258.4)